



グローバル30 総括シンポジウム

2
by 2020

国際化に対応した 環境のつくり方： サポート体制・宿舎

留学生・外国人研究者の増加に対応する
インフラの整備

京都大学 国際交流推進機構

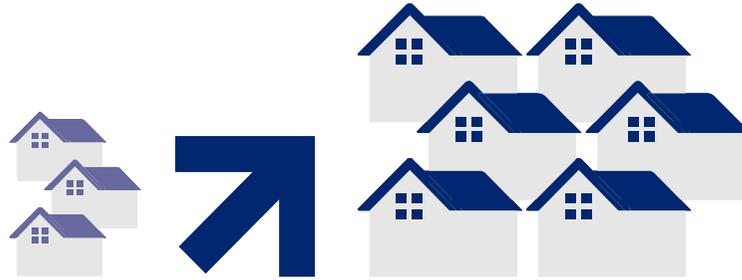
機構長 森 純一





2
by 2020

400 戸



800 戸

既存の宿 + 企業のアウトソーシング

既存の宿舎



UR・地方公共団体

学生寮運営会社との提携

民間学生寮

2
by 2020

- 料金体系: 収支支出の
長期的均衡を踏まえた設定
- 運営のアウトソーシング
 - ⇒ 効率的・経済性ある運営
 - ✓ 24時間電話サービス(多言語緊急電話)の導入 → 入電後、警備員が駆け付ける
 - ✓ 限定された職員数での運用



▲ 吉田国際交流会館

2
by 2020

国際交流会館が設置されていない

桂キャンパス※1 地区 = URとの協力

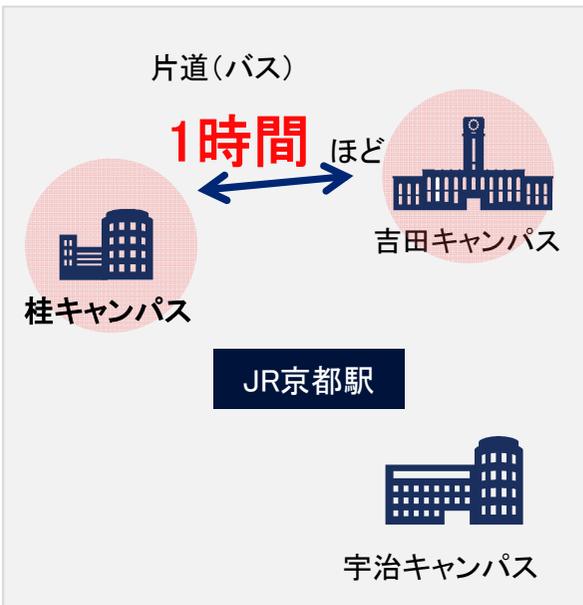


洛西ニュータウン



桂キャンパス

- 桂キャンパスまで市内から電車・バスで1時間
- 「洛西ニュータウン」※2 の過疎化



既存の学外施設の活用！

※1 桂キャンパス

2003年10月にオープンした京都大学3番目のキャンパス。4つのクラスターから構成され、テクノロジーとサイエンスが融合する新しい研究教育の場“テクノサイエンスヒル”の形成を目指して建設された。

※2 洛西ニュータウン

京都市最初の大規模計画住宅団地で、1976年に入居が開始、1990年ごろまでは人口が増加していたが、同ニュータウンへ直接通じる鉄道路線が開通していないことや慢性的な渋滞が続いていることから、その後人口流出が続き、少子高齢化が進行している。(出展:Wikipedia)



地方公共団体

京都府



京都市



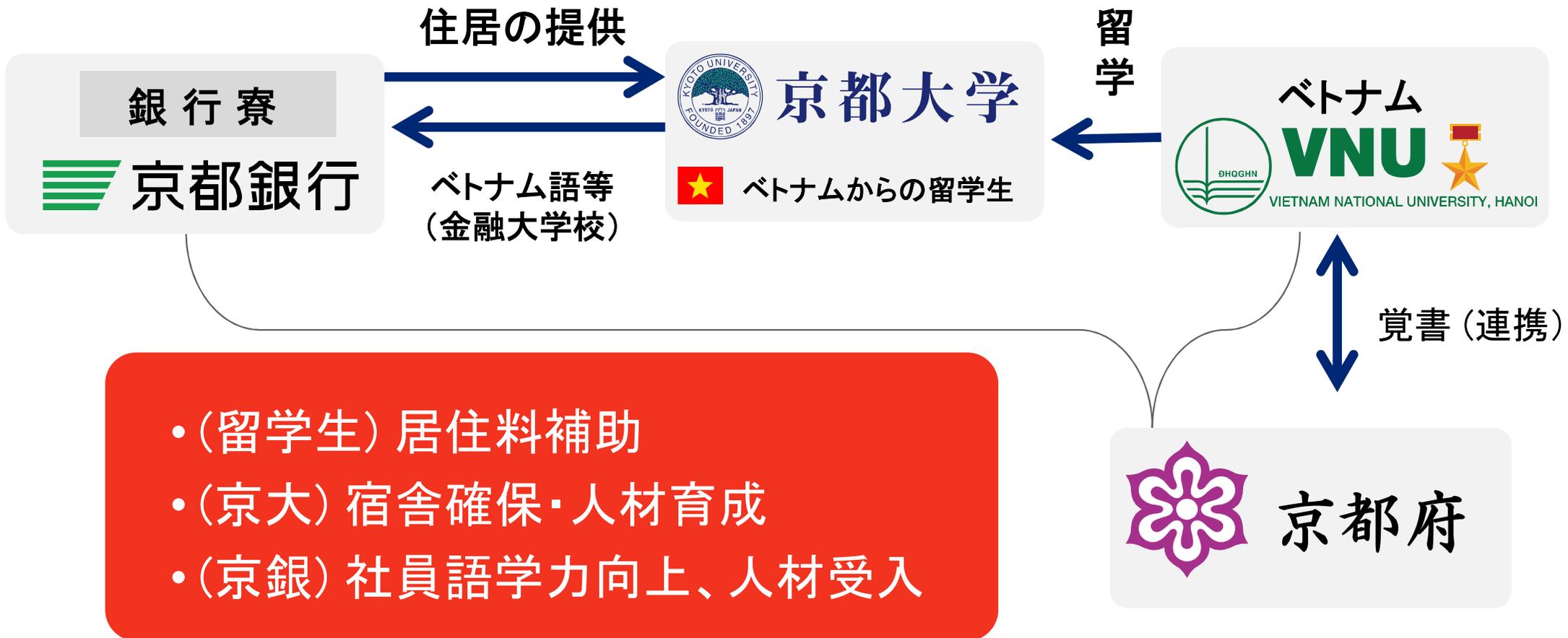
2
by 2020

- 地方公共団体の「国際化」アクション
- 新設の京都府留学生専用寮
(他大学とのシェア)

ex: 京都市  も施設活用で連携
(みささぎ分館土地借り上げ)

地方公共団体等の国際化・グローバル化への
対応策と密接連携

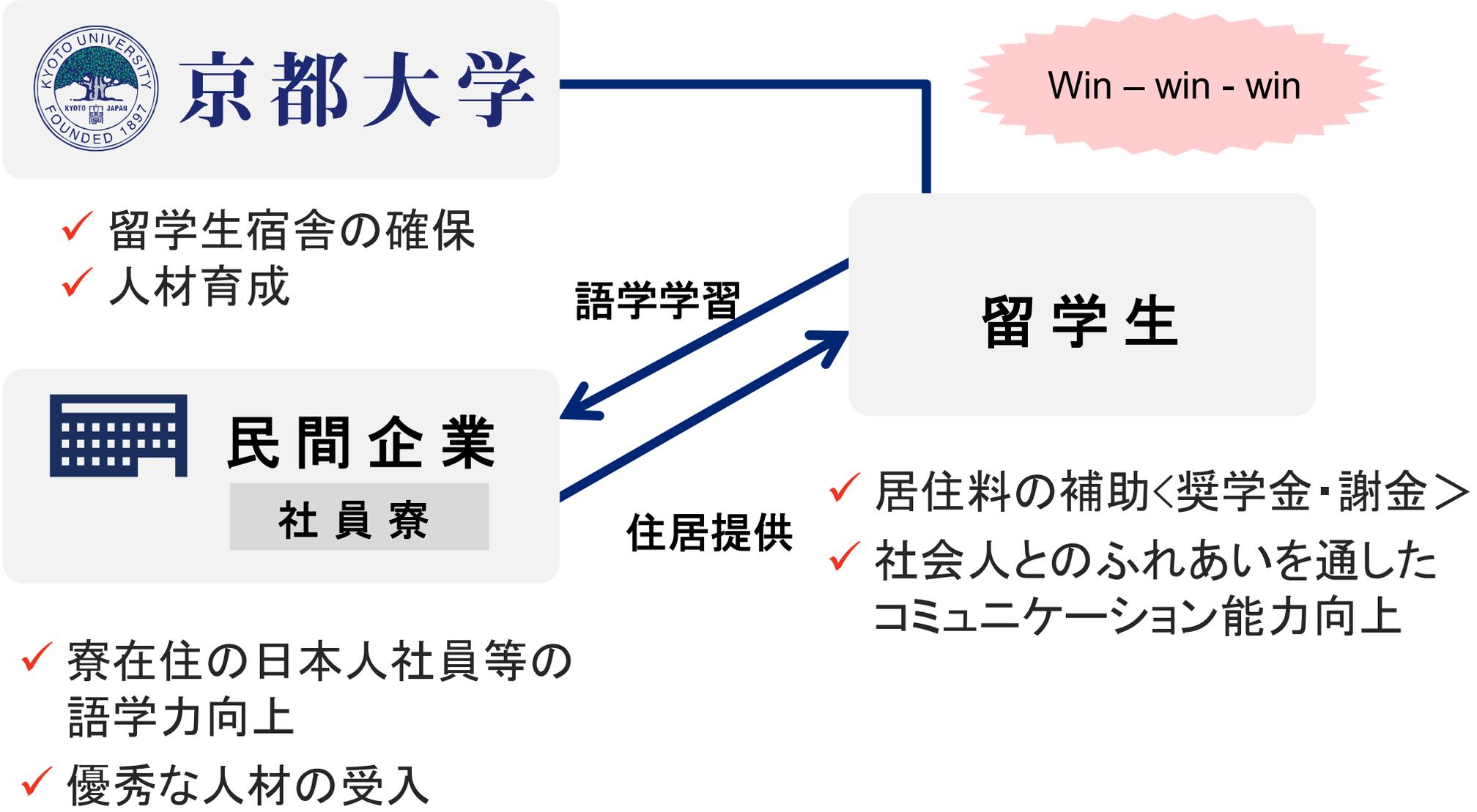
京都大学・京都銀行・京都府による ベトナムとの交流推進





民間企業とのコラボレーション

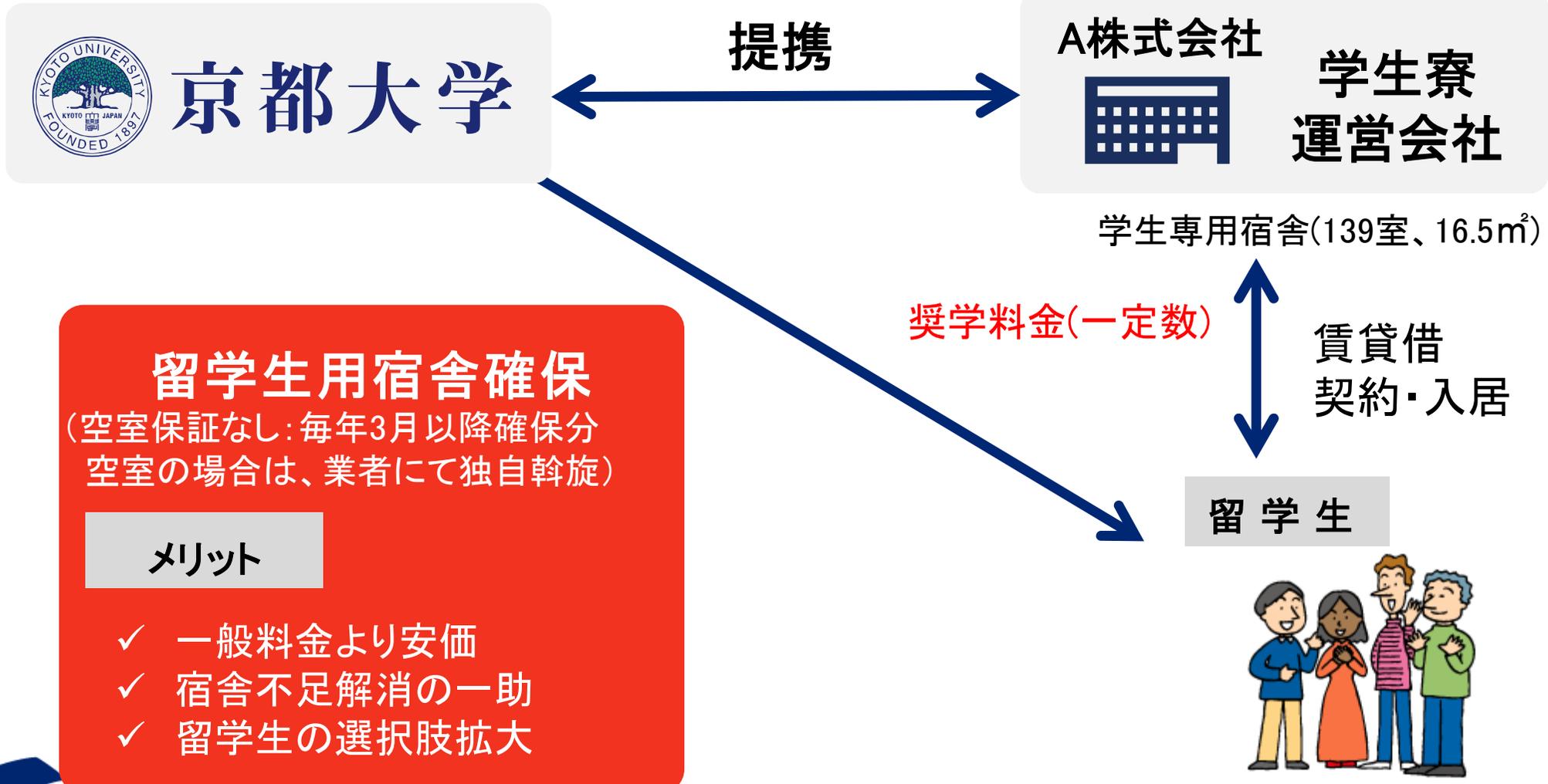
今後拡大





民間学生寮との提携

A社との留学生宿舎に係る提携スキーム



留学生用宿舎確保
 (空室保証なし: 毎年3月以降確保分空室の場合は、業者にて独自斡旋)

メリット

- ✓ 一般料金より安価
- ✓ 宿舎不足解消の一助
- ✓ 留学生の選択肢拡大





G30のインパクト

2
by 2020

- ✓ ~~制度・規制・前例主義の縛り~~
- ✓ ~~スピード感の欠如~~

「できない」理由を探す
姿勢を改めよう！



G30を土台とした国際化発展

まとめ

- インフラの充実がなければ真の国際化は不可能
- 地方公共団体とのより深い連携・協力要請
- 現在の資金不足 ⇒ 民間の活用
- 多様な留学生ニーズに対するより柔軟な対応

限られた資源を有効活用して
自律的な大学運営と国際化に貢献